



# ヘルスコンシェルジュによる企業への健康応援プロジェクト／健診と保健指導の一体化

受賞者

全国健康保険協会 静岡支部

取組アクション



## 背景・概要

平成29年度の静岡支部の被保険者の特定保健指導実施率(10.6%)が低迷。また、健康経営に踏み出せない事業所もある。健診機関と連携して、事業主の意識醸成を促し、職域における健康づくりの「土台」をつくることを推進した。



←加入している事業所を地道に訪問し、健康づくりの大切さや健診後フォローの必要性を説明

## 取組内容

- **健診機関との連携** 「健診は健康相談(保健指導)を受けるまでが健診」を合言葉に静岡支部及び健診機関が連携。次の3つの取組の必要性を事業主へ説明の上、必要な場合は面談などを実施。
- **健診受診者全員への健康相談** 事業所での検診車による集団健診時に、35歳以上の受診者9,038人全員に対し、健康づくりに関する冊子の配布や日頃の食生活、運動習慣などについて健康相談を実施。
- **初回面談(分割)の実施** 健診の結果から初回面談(分割)該当者366人のうち、341人へ初回面談(分割)を実施し、実施率は93.2%であった。
- **「要治療」者への受診勧奨** 平成29年度の健診結果などにおいて「要治療」と判定された者426人に受診状況を確認。治療の必要性を保健師・看護師などの専門職が説明し、未受診者に受診勧奨。その結果、受診勧奨後に100人が受診し、受診率23.5%であった。